

心をつなぐ 夢のおべんとう

—想いをかたちに。世界に一つだけのおべんとうづくり—

完成イメージ



先生向け
作り方実践動画

この教材は、放課後の限られた時間でも準備・片付けの負担を抑えながら、子どもたちが「**相手を想う心**」と「**自分で形にする創造力**」を育むことを目的としたキットです。

セットに入っているもの

- ☐ 粘土4色（赤・白・黄・青）
- ☐ 容器（お弁当箱）
- ☐ 作り方ガイド

準備いただくもの

- ☐ ボンド ※10名で約180ml
- ☐ つまようじorモール ※1名約1本
- ☐ 工作マット（クリアファイルも可）



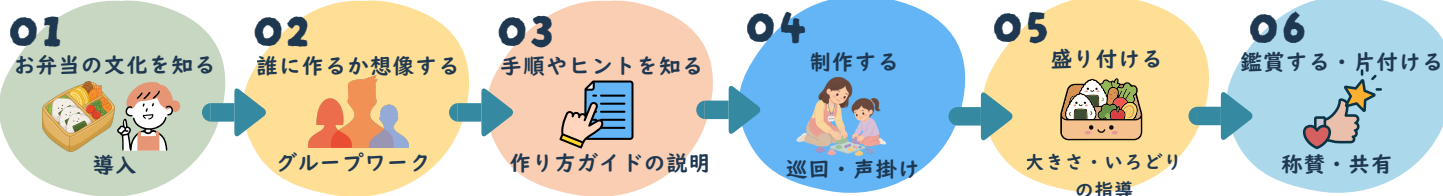
注意・配慮のポイント

- ☐ 【活動前】ねんどを口に入れないよう見守りを。【活動後】手洗いの声掛けを。
- ☐ 【活動前】つまようじorモールを使う時には周囲に配慮する指導を。
- ☐ 【活動前】大きさの目安が分かるように、容器を事前に配りましょう。

授業の流れ（参考）

全6ステップ

※②⑥はあくまでも、推奨の学習内容です



想いから、かたちへ。かたちからつながる。
こどもたちの「つくる喜び」と「やさしさ」を育みましょう！

裏面へ

①声掛けの例（ステップごと）

STEP1 お弁当の文化を知る

- ・お弁当を食べた時、どんな気持ちになった？
- ・家族に、こんな思いでお弁当作ってるよ

STEP2 誰に作るか想像する

- ・だれに、どんな時に食べてほしい？
- グループで話し合おう
(家族・友達・習い事の先生…)

STEP3 手順やヒントを知る

- ・食べ物はどんな力を持っているのかな？
- 作り方ガイドを見てみよう

STEP4 制作する

- ・その色いいね。どうやって作ったの？
- ・お弁当箱に入れて、大きさを確かめよう

STEP5 盛り付ける

- ・作ったものが美味しく見えるようにお弁当の中に盛り付けよう。

STEP6 鑑賞する

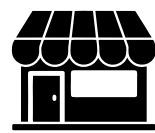
- ・お父さんに元気に仕事してほしいから、トマトを入れたんだね。
- 渡す時に工夫を教えてあげてね

②発展のヒント



【発想・思考力】

オリジナル食材づくりに挑戦
混色を応用し発想を広げる



※お弁当屋さん
ごっこなど

【道徳・学活】

作品を並べて
多様なアイデアを認め合う



【国語・道徳】

大切な人に思いを伝える
お弁当に込めた思いを言葉にする



【家庭科・食育】

粘土で作ったお弁当を
家庭で作ってみる

③粘土教材の効果について

【指先から伝わる発達】

こねる・丸める・つまむといった動作は、脳や心の発達を促し、丁寧に取り組む基礎能力を育てます。

【混色への気づき】

4色を混ぜ合わせ、新しい色が生まれる瞬間の驚きは、子どもたちの色彩感覚を豊かに刺激します。

【形にする喜び】

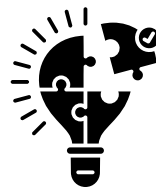
正解のない粘土だからこそ、イメージを自分の手で具現化する「創造する力」を引き出します。

④現場の悩みをオリジナル教材の力で解決します



先生方、こんな悩みはありませんか？

豊かな体験をさせてあげたい。
でも、日々の業務に追われ、
子どもの創造性にじっくり向き合う
時間や余裕が持てない。



悩みに寄り添ったサポート付き

- 子ども自身で制作に取り組めるガイド
- 使う粘土の色の割合を知り、混色の参考になる目安
- 食への興味づくりになる各食材の効果

教材開発者より

本教材をお手にとっていただき、誠にありがとうございます。

私たちは、教材の提供や教育環境の整備を通じて子どもたちの成長を応援する専門商社です。

現場を支える指導員の皆様は、私たちにとって大切なパートナー。

皆様に、特別な準備なく、教育効果を感じていただけるよう、モノの枠を超えたサポートをお届けしたい。

そんな思いから、今回のオリジナル粘土教材開発に至りました。

本教材は、教育現場での講師経験が豊富なプロの粘土作家監修のもと、こだわり抜いて設計しています。

子どもたちの「想像力」「食育」、そして「相手を思いやる心」が豊かに育まれることを、心から応援しております。

株式会社オフィスステーションカジワラ

